

第8号

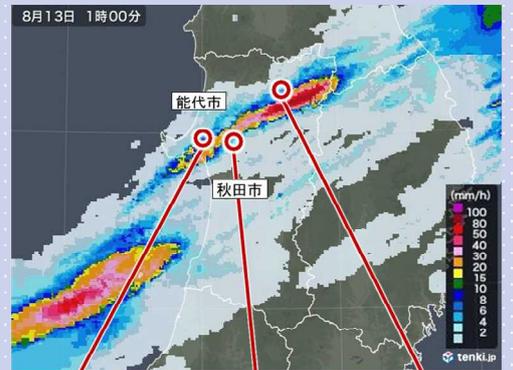
米代川水系流域治水ニュース

発行者：国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所
〒016-0121 能代市鹹渚字一本柳97-1 TEL 0185-70-1001 (代)
<http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/> E-mail thr-noshiro01@mlit.go.jp



～令和4年8月豪雨を振り返る～

令和4年8月3日、前線及び低気圧の影響により線状降水帯が発生し、青森県や山形県を中心に非常に激しい降雨となりました。米代川流域においても局地的大雨により河川の水位が上昇。大館市下内川で堤防が決壊する等大きな被害が出ました。
さらに令和4年8月9日から、前線が東北北部に1週間程停滞。青森県や秋田県を中心に非常に激しい降雨となり、多くの雨量観測所で史上1位の数字を記録しました。米代川堂ヶ岱水位観測所で氾濫危険水位を超過、観測史上2位の水位を記録するなど各地で水位が上昇し、内水、溢水による被害が発生しました。



あまがた
・大潟 208mm (観測史上1位)
※8月の平年値146mm

こしやま
・五城目 248mm (観測史上1位)
※8月の平年値174mm

あきた
・大館 294mm (観測史上1位)
※8月の平年値214mm

※ 日本気象協会



令和4年8月豪雨

被害を防止・軽減した流域治水の取り組み

河道掘削による治水効果

二ツ井水位観測所地点での水位低減効果

米代川では平成19年の災害をうけ、河道掘削や堤防強化といった「災害復旧等関連緊急事業」を進めてきました。河道掘削の効果により、能代市二ツ井水位観測所(米代川基準地点)では約1.4mの水位低減効果があったと推測されます。

●河道掘削の事例



排水ポンプによる内水排除

内水排除のため、排水機場2施設、排水ポンプ車4台を稼働。累計約130万m³(東京ドーム1杯分)の水を排水し、内水被害を軽減しました。

比井野川救急排水機場

悪土川救急排水機場

| 排水機場 | 排水能力 | 累計時間 | 総排水量 |
|------|--------------------|--------|--------------------|
| 比井野川 | 2m ³ /s | 28.4時間 | 約20万m ³ |

| 排水機場 | 排水能力 | 累計時間 | 総排水量 |
|--------|-----------------------|--------|--------------------|
| 悪土川 | 5m ³ /s | 48.9時間 | 約88万m ³ |
| 排水ポンプ車 | 30m ³ /min | 57.9時間 | 約15万m ³ |
| | 60m ³ /min | | |



●比井野川排水状況



●悪土川排水状況

調整池による一時貯留

調整池は雨水を一時貯留し、徐々に放流することで、周辺地域の冠水被害を軽減します。



大館市釈迦内 調整池

大館市釈迦内にある調整池は今回の出水で周辺地域の冠水被害を軽減しました。

地域の水防活動



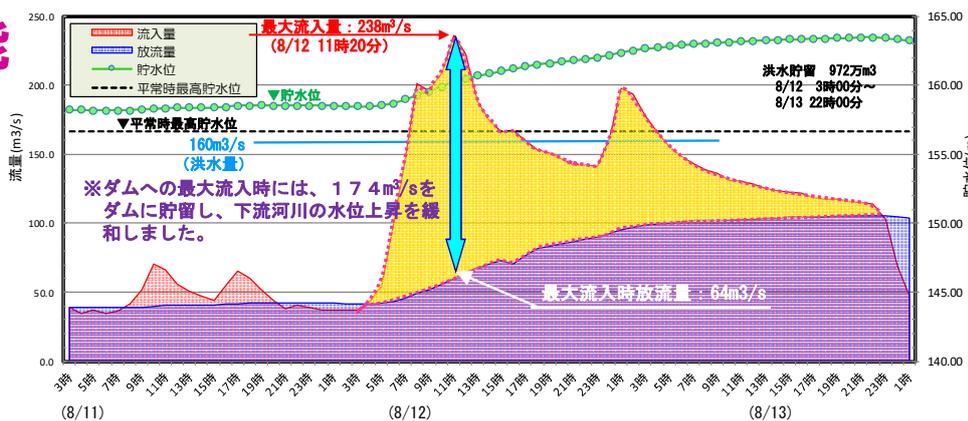
●北秋田市綴子川排水作業状況



ダムの洪水調整機能

森吉山ダムでは今回の洪水で、12日3時00分～13日22時00分までの43時間、容量にして約972万m³、東京ドームに換算すると、約7.8杯分の水を貯め込み、下流河川の水位上昇を緩和しました。

洪水貯留により、北秋田市阿仁前田地点(ダム下流約7km)では、最大貯留時には河川水位を35cm程度低下させる効果があったものと推測されます。



阿仁前田地点状況



「流域治水施策集」
 全国の水害対策をまとめた施策集です

※あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」の取り組みが広まっています
 詳しくは、右記のURL(QRコード)より確認できます。

<http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/kasen/ryuukichisui/ryuukichisui.htm>

